

## 天候概要

8月末の台風の影響は軽微で、9月上旬にかけ比較的安定した天候ではあったものの、日照時間が短い日が多く推移しました。札幌管区气象台は4日、北海道内全域で9日頃から一週間、平年を下回るかなりの低温となる恐れがあるとする早期警戒情報を出しております。収穫期を迎えた農作物に雨は不要ですが、収穫完了までは生産出来高の見通しが付かない状況です。

## スイートコーン



今年のスイートコーンは、細く短いものが多い上、先端不稔と呼ばれる頭の部分に実が入っていないものが非常に多い。

天候不順の影響で、粒列も乱れている。

(右端はほぼきれいに実が詰まったもの。)

J Aびえいの調査では、現在のところ反収が平年に比べ3～4割減の予想となっている。

ホールコーン生産開始後、歩留の低い状況が続いており、いんげんに続き生産量の大幅減も考慮に入れる必要が出てきた。

## かぼちゃ



(上段) えびす

7月の天候不順の影響で根が弱っているためか、すでに葉が枯れてきている。実は小さく、数も少ない模様。葉がないため、日焼けしてしまったものが多い。



(下段) ケント

こちらは比較的葉が茂っている。サイズもそこそこはなっている。収穫してみないとわからないが、玉数は少ないようだ。

かぼちゃも減産が予想される。

## 馬鈴薯



「トヨシロ」の畑でも収穫が始まった。

全般的に玉数はあるものの小振り傾向。

「ワセシロ」の新物の加工が始まった。同様に小さめの玉が多い傾向だが、味は馬鈴薯特有の風味が濃くおいしい。

一方、生食用品種の「男爵」はM玉にも中心空洞や黒変が多く発生している模様。